

**全国有力100社
アンケート調査**

「横ばい」が48%でトップ 「やや強気」が38%で2位 「強気」も8%で45%が強基調

9月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「9月の相場動向」の結果がまとまった。全体（電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計）の結果は、「横ばい」が48%で最も多かった。次に多かったのは「やや強気」で38%、3番目に多かったのは「強気」で7%。この両者を合わせた強基調の回答は45%と半数近くを占めた。同率3位の「やや弱気」は7%、「弱気」はゼロだった。

◆業種別～市中業者は強基調の回答が5割に

電炉メーカーのトップは「横ばい」で50%を占めた。「やや強気」は34%、「強気」は8%と、強基調も目立った。「やや弱気」は8%だった。商社・シッパーは、「横ばい」が73%で他を大きく上回った。他は「やや強気」が18%、「やや弱気」が9%だった。市中業者のトップは「横ばい」と「やや強気」でともに43%、また「強気」が8%あり、強基調の回答は51%に達した。

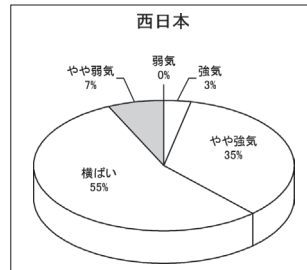
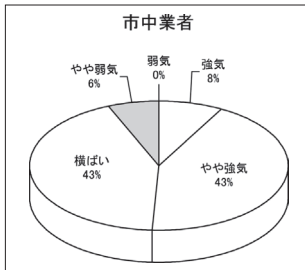
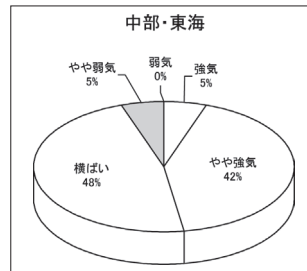
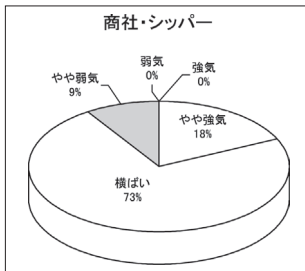
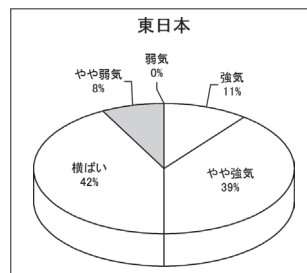
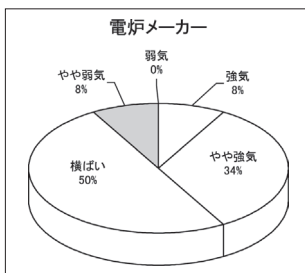
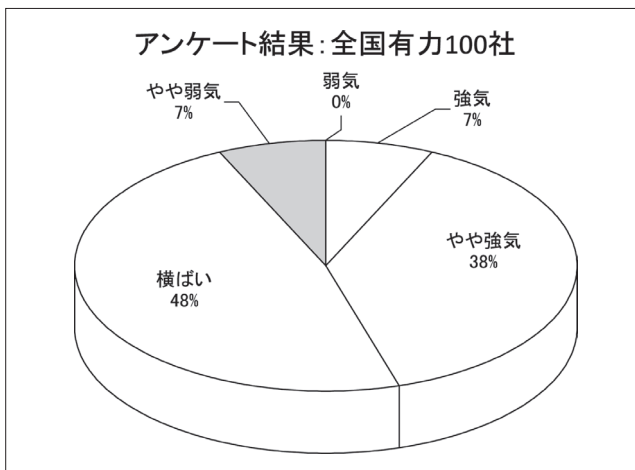
◆地域別～各地域とも同じ傾向に

各地とも同じ傾向という結果になった。東日本、中部・東海、西日本ともにトップは「横ばい」だった。特に西日本は55%と、半数以上が横ばいの予測だ。「やや強気」も多く、特に中部・東海地区では4割を超え42%となった。また今回は「強気」の回答が各地域ともに(東日本11%、中部・東海5%、西日本3%)あった。東日本は強基調が5割に達した。

<個別コメント(一部)>

▼国内景気回復・建築需要増加により、電炉購入量が増加すると期待される。▼海外相場は乱高下するものの、鉄鋼需要の余剰は解消されず、上値は限られたものと想定。▼シリア情勢・中国経済など不安定な状態が続いており先行き不安。▼秋以降の建材需要は堅調。ただし性急な販価上昇は期待できない。スクラップも大きな動きはないと思われる。韓国ミルによるけん制も続きそう。▼連休まで強く、その後調整に入る。▼韓国・トルコは9月分まで契約完了しているが、韓国

(現代)は、9月の連休(チュソク)前に10月分の契約に乗り出す可能性が高く、またトルコの動向も注目され、やや強含みではないか。



Innovation for further growth
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

MIYAZAKI <http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313
ISO14001認証取得

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602
ISO14001認証取得

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】
 ■回答方法:9月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
 ■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:8月28日～9月4日 ■回答率:86.0%(東日本95.0%、中部・東海95.0%、西日本72.5%)